

試験成績書

品名： UVカットリフォームフレキ

項目： 結露及び表面温度試験

KISS 三和商工 株式会社

1. 目的

SUS管を樹脂被覆することによる製品表面への影響を評価するため、結露及び表面温度の試験を行う。

2. 試料

①樹脂被覆あり（UVカットリフォームフレキ）

②樹脂被覆なし（SUS管裸管時）

3. 評価項目

3.1 結露試験

室温23℃、湿度50%の室内で2℃の冷水をSUS管内に封入し、水温を保持するよう液交換を10回行い、結露を発生させ、表面状態の確認を行う。

3.2 表面温度確認

80℃の温水を一晩通水し、接触温度計にて表面温度の測定を行う。

4. 結果

下図を参照。

5. まとめ



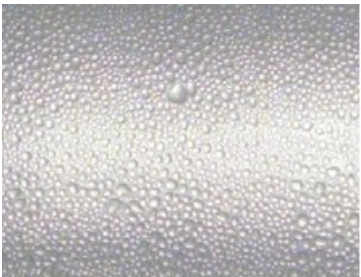
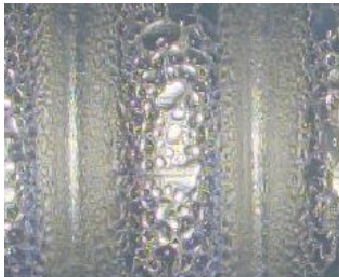
試験結果から、結露の状態を比較したところ、樹脂を被覆することで結露の粒子が小さくなる傾向がみられ、発生が抑制されたと考えられる。

また、80℃の温水を通すとSUS管の表面温度は66℃であったが、樹脂被覆することでさらに低下している。

被覆することで外観のみではなく、火傷のリスクや結露した水滴による影響も少なくなると考えられる。

4. 結果

・表面温度の比較

項目		①被覆あり	②被覆なし
結露試験 冷水封入	初期		
	封入後		
表面温度（℃） 80℃の温水通水		51	66